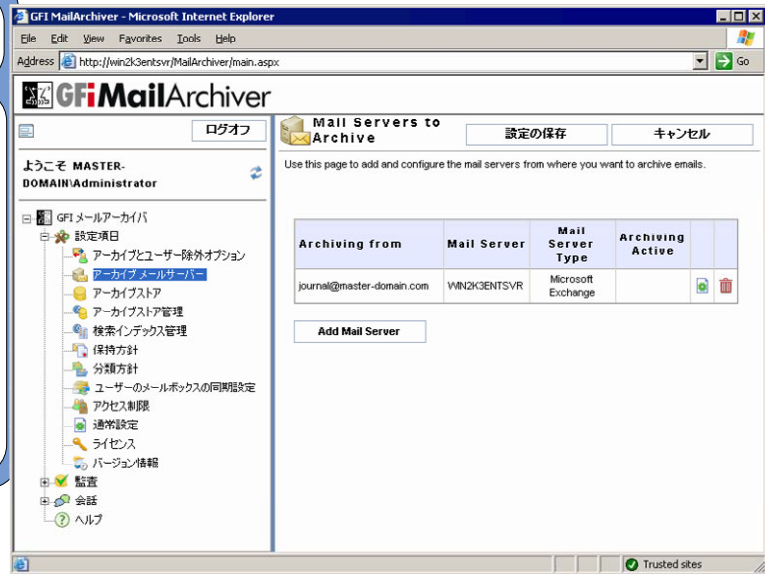


1

GFI MailArchiver

をインストールしてメールサーバーをセットアップする (必要な場合)

1. GFI MailArchiver をインストールします
2. [スタート] > [すべてのプログラム] > [GFI MailArchiver] > [GFI MailArchiver] の順に選択し、GFI MailArchiver 管理コンソールを起動します。
3. [Configuration] ノードを展開し、[Mail Servers to Archive] をクリックします。
4. [Add Mail Server] をクリックして、ウィザードに従って、最低 1 つのメールサーバーを設定します。
5. [設定の保存] をクリックします。
詳しい情報については、サーバーマニュアルの「Configuring the mail servers to archive」を参照してください。



2

GFI MailArchiver Outlook Connector
で使用する MS Exchange Server
を準備する

GFI MailArchiver

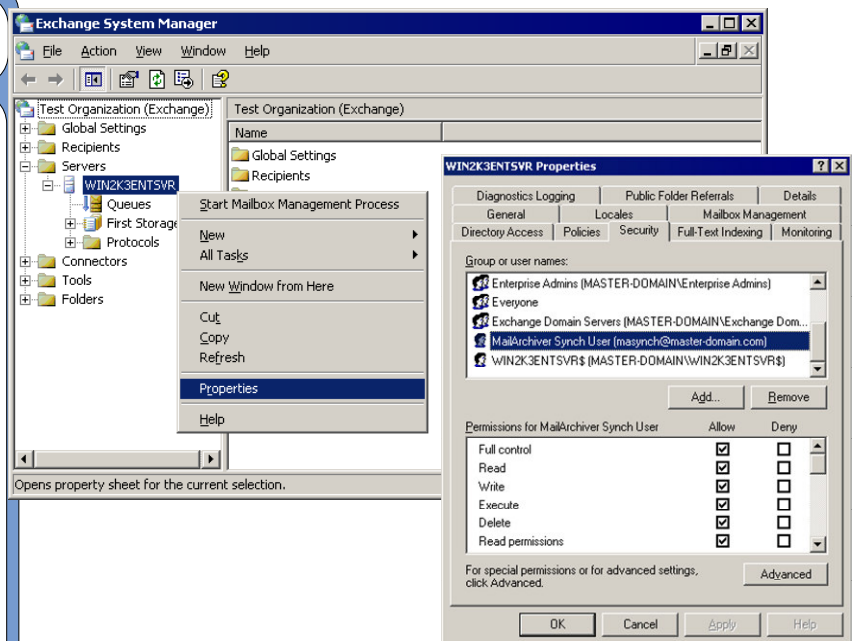
の同期プロセスが行えるのは、すべてのユーザーのメールボックスに対する特権を持ったユーザーだけです。このユーザーは、GFI MailArchiver がインストールされているマシンでの実行権限も所有している必要があります。

Exchange 2000/2003

1. Microsoft Exchange のシステムマネージャを起動します。
2. 適切な管理グループ内の [サーバー] ノードを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
3. [セキュリティ] タブを選択して [追加...] をクリックし、すべてのユーザーのメールボックスに対する特権を与えるユーザーを選択します。
4. 権限の一覧で、[フルコントロール] の横の [許可] をクリックします。

Exchange 2007

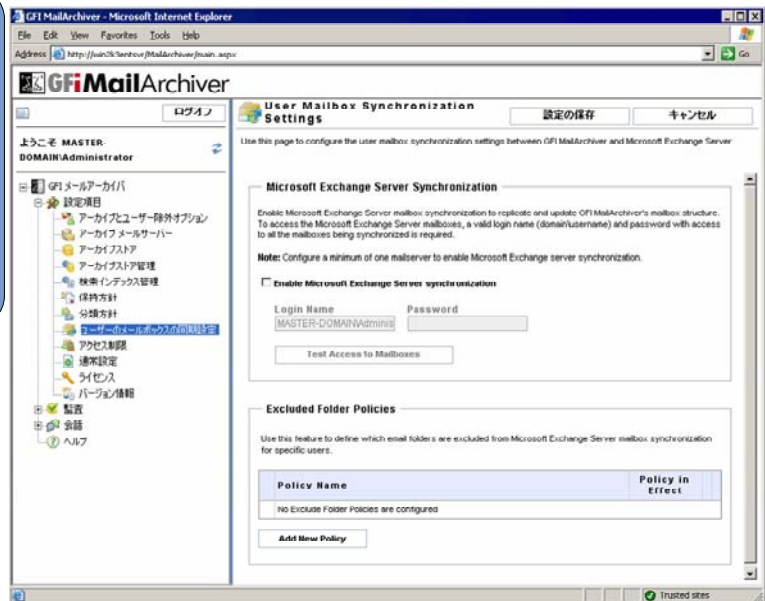
1. [Exchange 管理シエル] を開きます。
2. 次の Windows PowerShell コマンドレットを実行します。
Add-ADPermission -<メールボックス保存名> "Mailbox Store" -<ユーザー名> "Trusted User" -AccessRights GenericAll
例:
Add-ADPermission -Identity "First Storage Group" -User "master-domain\masynch" -AccessRights GenericAll
3. 必要とされるメールボックス保存データベースごとに上記の操作を繰り返します。



3

GFI MailArchiver からユーザーのメールボックスの同期を構成する

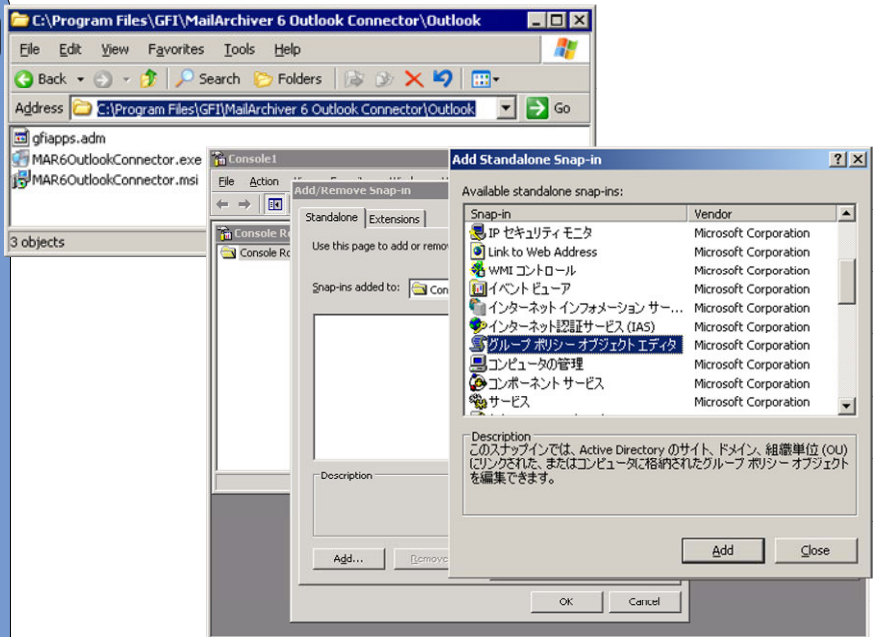
1. GFI MailArchiver 管理コンソールで、[Configuration] ノードを展開して、[User Mailbox Synchronization Settings] をクリックします。
2. 右のペインで、[Enable Microsoft Exchange Server synchronization] を選択します。
3. [Login Name] と [Password] を入力します。
4. [Test Access to Mailboxes] をクリックします。



4

Active Directory での展開: 環境の設定

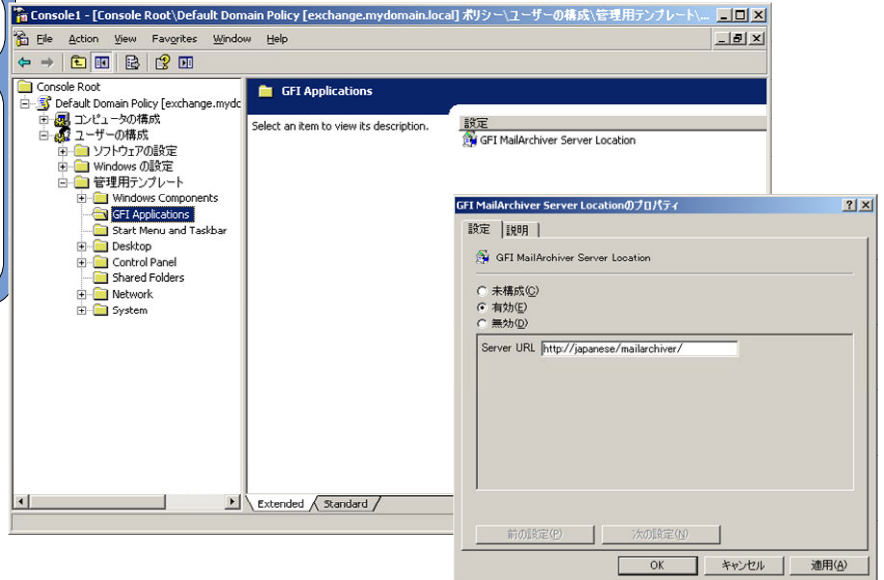
1. C:\Program Files\GFI\MailArchiver 6 Outlook Connector\Outlook にある **gfiapps.adm** ファイルを \\<ドメイン>\システムマシンのマシン名\<SYSVOL\<ドメイン名>\Policies\{31B2F340-016D-11D2-945F-00C04FB984F9}\Adm にコピーします。
2. C:\Program Files\GFI\MailArchiver 6 Outlook Connector\Outlook にある **MAR6OutlookConnector.msi** ファイルをすべてのドメインからアクセス可能な共有にコピーします。
3. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] ダイアログから mmc.exe を実行します。
4. [ファイル] > [スナップインの追加と削除] をクリックします。
5. 利用可能なスタンドアロン スナップインの一覧から、[グループ ポリシー オブジェクト エディタ] スナップインを選択して [追加...] をクリックします。
6. [参照...] をクリックし、編集するドメイン ポリシーを選択します。
7. ドメイン ポリシーを選択して [OK] をクリックします。



5

GFI MailArchiver Outlook Connector のポリシーを設定する

- 手順 4 で開いたグループ ポリシー オブジェクト エディタを使って、[ドメイン ポリシー] > [ユーザー構成] > [管理テンプレート] の順にノードを展開します。
- 右のペインで [GFI MailArchiver Server Location policy] をダブルクリックします。
- [有効] を選択し、サーバーの URL を変更します。



6

GPO を使って GFI MailArchiver Outlook Connector を展開する

- 手順 4 で開いたグループ オブジェクト ポリシー エディタを使って、[ドメイン ポリシー] > [コンピュータの構成] > [ソフトウェアの設定] の順にノードを展開します。
- [ソフトウェアのインストール] を右クリックし、[新規作成] > [パッケージ] を選択します。
- [開く] ダイアログ ボックスで、上記の手順 4 で MAROutlookConnector.msi を保存した共有を指定します。
- 展開オプションを選択します ([割り当て] を選択して [OK] をクリックします)。
- インストールが完了したら、Outlook Connector がインストールされていることを次の手順で確認してください。
 - Microsoft Outlook を起動します。
 - GFI MailArchiver Mailbox という新しいフォルダが作成されていることを確認します。

